

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DOC）	事務事業名	No. 580313	資料館資料整理事業	主管課名	教育行政課						
	この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		課長名	神谷 浩一					
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち								
		基本事業	文化財の保存と活用								
	(1)事業の概要										
	未整理の古文書群、猿投窯出土遺物群等の整理を行い、町誌編さん、新たな郷土の歴史の調査研究、資料館展示事業等に活用する。 対象資料 黒笹村、高嶺文書など未整理の古文書群約5万点、猿投窯黒笹地区出土遺物群他（コンテナ約1,470箱） 整理内容 整理確認・目録化（データ入力）・マイクロフィルム撮影				(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
					名 称	単位					
					古文書の整理件数	件					
					遺物コンテナ及び民俗資料の整理件数	件					
					マイクロフィルム撮影件数	件					
				その指標							
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		古文書等整理、古文書マイクロフィルム撮影業務・埋蔵文化財整理業務委託・緊急雇用創出事業（古文書等資料データベース作成業務委託・絵図面等資料撮影業務委託）（5業務） 設計書作成、委託契約、業務の施行監理 出来高検査、委託料の支払い 業務成果品の保存管理									
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)											
資料館で収蔵する古文書 資料館で収蔵する出土遺物及び民俗資料 資料の状態が著しく悪い古文書等の収蔵資料				(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
				名 称	単位						
				古文書の数	点						
				遺物コンテナ及び民俗資料の数	点						
				データ化が必要な収蔵資料の数	点						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)											
古文書等を選別し目録及び台帳を整理する。 出土遺物及び民俗資料を選別し目録及び台帳を整理する。 データ化し保管管理する。				(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
				名 称	単位						
				整理し把握した市内所在古文書数（累計）	点						
				整理した遺物コンテナ、民俗資料の数（累計）	点						
				データ化した古文書等の数（累計）	点						
(4)結果(上位基本事業の意図)											
伝統文化を保護保存し次代に継承する。				(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
				名 称	単位						
				伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合	%						
				伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合	%						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
(5)の活動指標		件	15	300	100	100	100	100			
		件	130	23	100	100	100	100			
		件	10	15	10	10	10	10			
(6)の対象指標		点	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000			
		点	6,305	6,405	6,505	6,605	6,705	6,805			
		点	48,693	48,193	47,693	47,193	46,693	46,193			
(7)の成果指標		点	34,309	32,530	32,630	32,730	32,830	32,930			
		点	6,195	6,218	6,318	6,418	6,518	6,618			
		点	38,307	38,607	38,707	38,807	38,907	39,007			
(8)の結果の成果指標		%	74	62	74	74	74	74			
		%	50	53	50	50	50	50			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	07
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	5,306	5,383	6,391	8,426	7,691	6,391			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	5,306	5,383	6,391	8,426	7,691	6,391			
人件費B		千円	2,374	3,761	3,761	3,761	3,761	3,761			
正職員従事時間×人数		時間×人	125×4	150×4	150×4	150×4	150×4	150×4			
正職員以外の人件費		千円	490	1,536	1,536	1,536	1,536	1,536			
その他費用C		千円	345	337	337	337	337	337			
トータルコストA+B+C		千円	8,025	9,481	10,489	12,524	11,789	10,489			
単位あたりコスト		千円/ 点	0	0	0	0	0	0			
(トータルコスト		千円/ 点	1	1	2	2	2	2			
/(6)の対象指標)		千円/ 点	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580313 資料館資料整理事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成14年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？	
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 寄託又は寄贈された古文書等の資料は、袋詰めにされた状態で保管管理していたが、新編三好町誌編さんに活用するため開始した。	特になし。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している	変化した内容	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 文化財保護法、みよし市立民俗資料館設置条例 この事務を行う根拠又は理由 寄贈資料、寄託資料及び購入資料は、市民共有の歴史的な財産であり、これらの整理と活用は、資料館の役割である。		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由又は内容 資料館の収蔵資料を整理保存する事業であり、専門業者への業務委託、職員の増員により可能な限り事業の遂行を早める。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性 ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	未整理状態にある古文書及び遺物は、小中学校の教材、新たな郷土の歴史に関わる調査、研究、資料館展示事業に活用することができない。他の博物館からの借用依頼や資料館調査に対応できないため、事業の継続が必要である。					